

そーなんだ 議会の仕組み



◀津屋崎中学校 生徒会長
村瀬 巧馬さん

◀福間中学校 生徒会長
山根 二瑚さん

◀福間東中学校 生徒会長
古賀 路晟さん

市議会議員と同じく、選挙という方法で選ばれる生徒会長。今回は中学校の生徒会長の皆さんに集まっていただき、特集の紙面づくりに協力していただきました(裏表紙に関連記事)。

なぜ会長に? なってみたいどう?



こがみちなり
古賀 路晟さん
福岡東中学校

縦のつながりを強化

生徒会が題材の漫画に影響され、生徒会選挙に立候補しました。「演説良かったよ」と、自分のために一生懸命応援してくれたことが嬉しかったです。

生徒会長になってみて、かなり仕事がありました。特に、生徒会役員の意見をまとめて提案することが大変でした。

学年ごとの横のつながりの行事は多いので、縦のつながりを強める企画をしたいです。

案としてはブロック対抗掃除競争です。自らキレイにするように取り組み、楽しく競うことをしたいです。



やまねにこ
山根 二瑚さん
福岡中学校

頼られる喜び

姉が生徒会長だったんです。すごく楽しそうで、影響されました。

生徒会選挙では、クラスみんなが応援し、優しく声をかけてくれたので楽しかったです。

生徒会長になって、始業式などの節目にオンライン上で話すのは緊張しますが、部活や登校中に「生徒会長だ!」と言われるのは嬉しいです。最近では、生徒からも要望をもらえて、頼られることも喜びです。

校舎内クイズラリーを企画しました。楽しみながら新校舎のことなども知ってもらえたので実施できてよかったです。



むらせたくま
村瀬 巧馬さん
津屋崎中学校

自分の言葉で伝える大切さ

先生に生徒会の書記を勧められたのがきっかけでした。生徒会が楽しくなって、会長を目指しました。

生徒会長の選挙は、みんなに支えられて当選ができました。他の候補者の分まで頑張って、この人がなってよかったと言われる生徒会長になりたいと思いました。

生徒会長として体育祭や行事などに自ら積極的に行動することで、学校全体が良くなっていくのが実感できています。

今後は、公約に掲げていた生徒の意見を集めるための目安箱を設置していきたいです。

市議会はなぜ必要?

私たちが住む福津市を、より住みやすくするにはどうしたらよいでしょうか。市民の意見を反映するためには、どのような仕組みが必要なのでしょう。

中学校を例に考えてみましょう。生徒たちは学校生活や学校行事を、もっと充実させたい、見直したいなど、それぞれの視点で考えていると思います。例えば、校則を見直したいとか、あいさつあふれる学校づくりを行いたいとか、修学旅行の行き

先を変更したいとか。そういった生徒たちの意見を考える組織が中学校にはあります。そう、生徒会です。同じように福津市にも、市の決まりやお金の使い方(予算)などについて話し合い、決めるところがあります。それが福津

私たち
生徒会長のことも
聞かれました!



市議会です。

教育や福祉、道路、産業など、様々なまちの課題への解決策をはじめ、良いまちにするためには、市民みんなで話し合うことが一番良い方法です。

しかし、福津市の6万8500人が一度に集まることはできません。そこで市民の中から代表として話し合う人を選挙で選びます。その代表者を「市議会議員」といいます。市議会とは、市議会議員が集まって、市がより良いまちになるよう議論し、その方法を決めるところです。

市長と市議会は両輪

市長も市民から投票で選ばれた代表者です。皆さんの暮らしにつながる計画や予算、市の決まり(条例)などを市の職員と話し合い市議会に提出します。市長には、計画や予算などを決めて、議会に提出をする大きな権限があるのです。

一方、市議会には、18人の議員がいます。市民から様々な意見や要望を拾い上げ、市長から提案された内容を話し合って、それで良いかどうかを色々な見方でチェックする役割があります。少数派の人たちの声も受け止め、まちの意見として反映させることができます。

市長と市議会は、お互いの役割を果たし、協力して、皆さんがより豊かな暮らしができるように取り組んでいるのです。

市議会の仕事と役割

市議会は市民の代表として、より良いまちを実現するため、主に4つの仕事を行います。

声を聞く
市民のために仕事をする

願いを伝える

選ぶ

する

・政策提案する

市議会

議員全員で構成される会議。
議案の可否など、市議会として最終的な決定をする。

本会での審議を慎重かつ合理的・能率的にするために、委員会を設置。委員会で審査した結果は、本会議に報告され、議決の参考とされる。

特別委員会

- ・予算審査特別委員会
- ・決算審査特別委員会など

建設環境委員会

市の仕事は、学校や子育て、高齢者や障がい者などの福祉、道路などの都市整備、産業振興など、たくさんの分野にわたり

市議会の委員会とは？

市の仕事は、学校や子育て、高齢者や障がい者などの福祉、道路などの都市整備、産業振興など、たくさんの分野にわたり

市議会の本会議とは？

●18人の議員全員が集まる最も重要な会議です。
●議会の意思は、多数決を原則として、出席議員の過半数で決まります。
●本会議で決まったことは、市の最終的な決定となります。
●本会議は、決まった時期(3月、6月、9月、12月の年4回)に開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。



- ① 条例を決めたり、改めたりします。
 - ② 市民から集めた税金の使い道(予算)を調べ、決めます。
 - ③ 市のお金が正しく使われているか(決算)を調べ、認めます。
 - ④ 市の仕事(行政監視)が正しく行われているか(監視)を調べます。
- 次に、議会の重要な役割である、決める(議決)、チェックする(行政監視)、提案する(政策提案)

策提案)機能を説明します。
決める(議決)

市長が提案した条例や予算について調査し、賛成か反対かを多数決で決定(議決)します。議会としての意思は、議決によって決まるのです。

チェックする(行政監視)

市の仕事や計画、お金の使い道が正しく運営されているかをチェック(行政監視)して、正したり、誤りを防いだりする役割を持っています。

提案する(政策提案)

議会自らが政策をつくる機能です。行政の課題に正面から取り組み、将来を見通しながら課題を解決するための方針や手段を提案する役割です。



今回、初めて議場を体験しました。他の生徒も体験して、議会がどういうところで何をしているかを知ったら、もっと興味湧くと思います。大人になって投票に行こうという気持ちになるかも。



たかやま けんじ 議長
高山 賢二 議長

議会基本条例※の制定を検討しています

議長にインタビュー

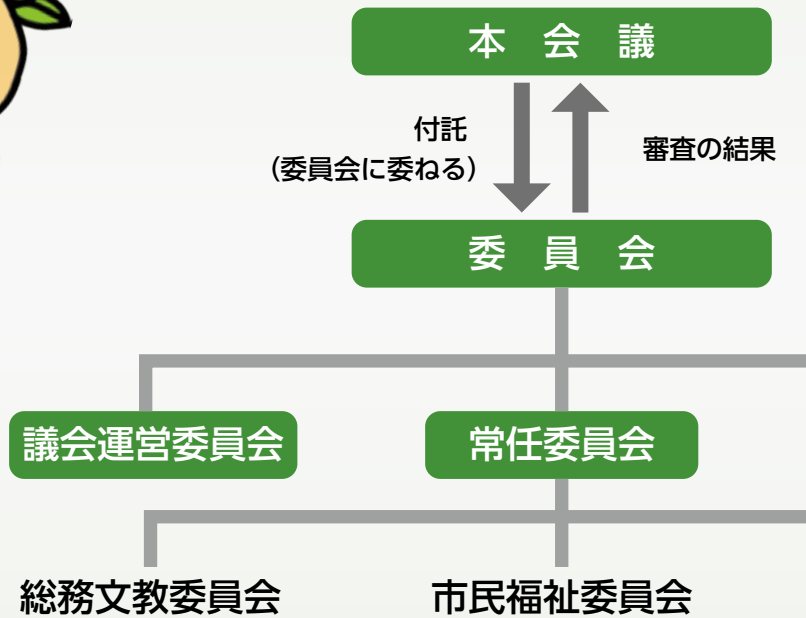
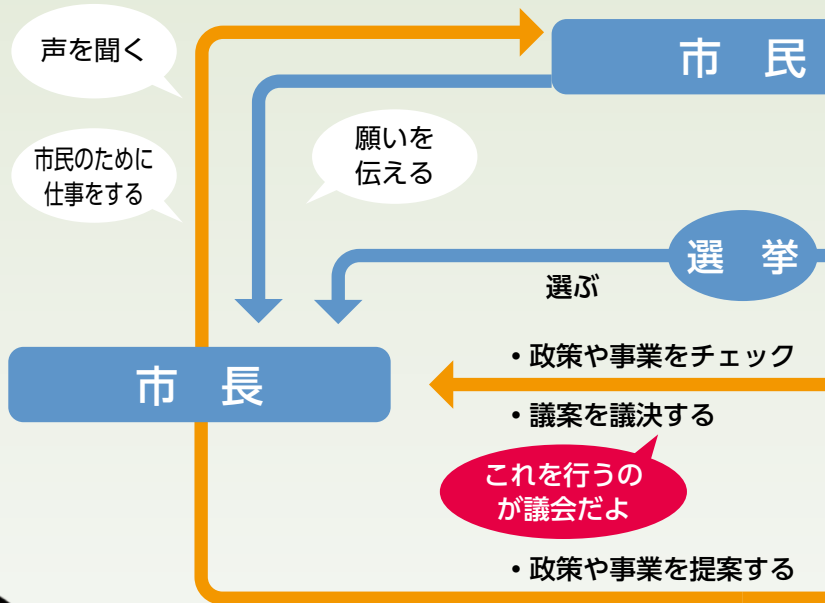
議会は必要かと問われれば、当然必要だと答えます。市長がすべてを決めたら一方的になっってしまうこともあります。市民から選ばれた議員が、いろいろな人や地域の意見を代弁し、市長と様々な視点で議論することが大事ではないでしょうか。市長と対等である議会があることで、より良い福津市になって

いきます。しかし、議会を不要だと感じる人がいるのであれば、もっと理解していただけるような議会運営や議員活動が必要なのかもしれません。市議会では、3月定例会で議会基本条例制定検討特別委員会を立ち上げました。議会と市民の関係、議会の役割、議員の責務などを検討し、講師を招き学習会をしています。今後も議会としての資質を高めていきます。



▲議会基本条例制定検討特別委員会のメンバー。6月29日は、早稲田大学マニフェスト研究所の中村健氏（写真前列中央）をお招きし、学習会を開催

※議会基本条例とは、議会の基本理念や方針などを明文化した条例



ます。そのため、市議会では話し合わなければならない問題がたくさんあります。そこで、本会議とは別に市議会議員がそれぞれ分野を分担し、詳しく話し合いをする会議を開きます。この会議を委員会と言います。委員会には、常に設置されている常任委員会、議会運営委員会の他に、必要に応じて設置される特別委員会があります。福津市議会には、「総務文教」、「市民福祉」、「建設環境」の3つの常任委員会があり、議案等を詳しく審査するために欠かせない場となっています。議長を除く17人の議員は、いずれかの委員会に所属しています。